重点戦略	【重点戦略１】 日々の暮らしにくさを解消する生活環境（買い物・医療等）の利便性向上	【重点戦略２】 渋滞の緩和と誰もが便利で快適な交通環境の実現	【重点戦略３】 若者が自らの未来を描き暮らし続けられる環境の創出	【重点戦略４】 次世代育成と多様な担い手の共生・共創による地域コミュニティの活性化	【重点戦略５】 激甚化する災害に備え誰もが安心できる防災基盤の充実
対応する課題	・日常的な買い物環境の不足 ・医療環境へのアクセスの悪さ	・恒常的な渋滞 ・町民の移動改善 ・公共交通の混雑	・若者、子育て世代の流出 ・住環境の不足	・次世代の愛着形成 ・外国人住民との共生 ・地域コミュニティの担い手不足	・避難誘導、避難環境の未整備 ・自主的な防災力の充実
目指す姿	・生活利便性が向上し、生活サービスへの不満による転出が抑制される	・町民・観光客がストレスなく円滑に移動できる	・自分らしく仕事、子育て、生活を送ることができる ・若者の転入促進・転出抑制	・多様な人材の共生・まちづくりへの参画による地域コミュニティの維持・活性化	・町民、観光客が安心して生活・観光をすることができる
主なターゲット	・町民（全世代）	・町民（全世代） ・観光客	・町民（若者・子育て世代）	・町民（全世代（主に次世代・外国人））	・町民（全世代） ・事業者　・観光客
成果指標案	・生活サービスの満足度	・移動に関する満足度	・20～39 歳の社会増減数	・地域活動に参加している住民の割合	・スフィア基準を踏まえた避難所環境整備率

にぎわいと自然の恵みを礎に 幸せめぐる未来へ

■第７次総合計画における**重要目標達成指標**

箱根で暮らすことに対しての幸福度：　現状値　5.97　⇒　目標値　7.80

■第７次総合計画において目指す人口水準

現状値　10,274 人　⇒　目指す水準　10,000 人を維持

重点戦略	【重点戦略６】 新たな観光需要を創出し、進化し続ける観光地づくり	【重点戦略７】 オール箱根で支え合う持続可能な受入体制の構築	【重点戦略８】 デジタルと共創による行政運営の効率化・高度化	【重点戦略９】 財源の確保と最適配分による持続可能な財政基盤の構築
対応する課題	・選ばれ続けられる観光地づくり ・観光による地域・環境への負荷	・観光産業を支える人材、体制の不足 ・住民の観光への理解促進	・限られた職員数での行政運営 ・複雑・高度化する地域課題への対応	・財政の硬直化、財源不足 ・物価高騰、公共施設の老朽化
目指す姿	・新たな観光のあり方の創出 ・自然保護を基盤とした再生型観光の充実	・観光産業を支える人材の確保 ・町民の観光に対する理解・協力	・地域課題への迅速・柔軟な対応 ・デジタルと民間活用を活かした効率的・効果的な行政運営	・安定した財政基盤の構築 ・暮らしと観光への最適配分
主なターゲット	・事業者 ・観光客	・事業者 ・町民（全世代・観光従事者）	・町民（全世代） ・行政・職員　・事業者	・町民（全世代）
成果指標案	・観光消費額	・観光に対する住民満足度	・行政運営に対する住民満足度	・財政健全化指数